

慢性痛に対する認知行動療法 :モデルと効果、対話イメージ、プログラム例

長引く痛みである慢性痛の発症や維持には心理社会的要因が大きく関与し、心理的アプローチ、特に認知行動療法が有効とされる。本研修会では、慢性痛に対する認知行動療法のモデルやその効果、対話イメージ、具体的なプログラム例を紹介する。

2023
12/17
(SUN)
10:00~12:00
受付開始 9:00

講師 細越 寛樹 先生

関西大学社会学部社会学科心理学専攻教授
国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター客員研究員
日本運動器疼痛学会代議員
慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループ委員(心理的アプローチ担当代表)
公認心理師、臨床心理士
日本ゲシュタルト療法研究所スーパービジョン50セッション訓練修了(Diploma)

■方 法 Zoomを使用したオンライン研修会
※参加にはパソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。

■定 員 40名(先着順)

■対 象 公認心理師、臨床心理士、
公認心理師・臨床心理士をめざす大学院生、
臨床心理学領域を教えている教員の方、
慢性痛診療に関わる医師・看護師・理学療法士・
作業療法士などの医療関係者の方

■参加費 無料

細越 寛樹 先生

■略 歴

北海道釧路市出身。
筑波大学第二学群人間学類を卒業後、筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻に入学し、博士(心理学)を取得。
その後、日本学術振興会特別研究員、京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科講師、畿央大学教育学部現代教育学科准教授を経て現職。

■主な著書

『Pilot study of a basic individualized cognitive behavioral therapy program for chronic pain in Japan』
(共著, BioPsychoSocial Medicine, 2020)
『慢性疼痛治療ガイドライン』(共著, 2018)
『慢性痛に対する認知行動療法と構造化されたプログラム例』
(単著, 精神療法, 2020)
『慢性痛の認知行動療法 治療者用マニュアル パイロット・スタディ版』
(共著, 2022)

お問合せ & お申し込み

■お問合せ

常磐大学心理臨床センター
〒310-8585
水戸市見和1-430-1
TEL:029-232-2874

■お申し込み

常磐大学心理臨床センターウェブサイトの
「公開研修会受講申し込みフォーム」にて、12月8日(金)
までにお申し込みください。
お申し込みをいただいた方には、「招待メール」を差し上げます。
URL:<https://www.tokiwa.ac.jp/tccp/>

